2023 年 8 月 7 日

通貨ニュース

OECD 景気先行指数：欧州圏の経済に減速の気配あり

金融市場部
長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

8 月 4 日、OECD（経済協力開発機構）は 7 月分の CLI（景気先行指数、Composite leading indicator）を公表した。景気循環の転換点の兆候を早期に捉えるための指標であり、先行期間は 6～9 か月とされている。また、サンプルから外れ値を除去したのちに、それらを標準化することで算出される長期平均（≒中立水準）を 100 としている。すなわち、100 以上は景気拡大、100 以下は景気縮小局面を意味する。OECD によれば、G20 の CLI は+0.11%上昇した（図表 1、2）。2022 年 11 月まで 17 か月連続で低下したのち、8 か月上昇を続けている。また、G7（+0.05%）も 8 か月連続で上昇。以下、地域別に確認する。

アメリカ大陸は、全体的に良好な結果だった（図表 1、3）。ブラジル（+0.16%）は 5 か月連続で、米国（+0.12%）は 4 か月連続でそれぞれ上昇した。また、メキシコ（+0.10%）も 10 か月連続で上昇。カナダはほぼ横ばい推移だった。

欧州圏は、長期平均割れは継続、方向感としてはまちまちの結果となった（図表 1、2、4）。欧州主要 4 か国の CLI は、▲0.04%と 3 か月連続で低下した。個別国では、ドイツ（▲0.13%）は 3 か月連続で、フランス（▲0.09%）は 21 か月連続でそれぞれ低下した。

アジア・オセアニアは、中国を中心に切り返しが目立つ（図表 1、5）。中国（+0.25%）は 11 か月連続で、韓国（+0.16%）は 5 か月連続でそれぞれ上昇した。また、インドネシア（+0.09%）は 5 か月連続で、インド（+0.04%）は 4 か月連続で上昇。加えて、オーストラリア（+0.02%）は 2 か月ぶりに、日本（+0.01%）は 6 か月連続でそれぞれ上昇した。

中東・アフリカは弱めな結果となった（図表 1、6）。南アフリカ（▲0.16%）は 17 か月連続で低下し、トルコはほぼ横ばい推移だった。

G20 の CLI は、上述の通り 8 か月連続で上昇を見せており、すでに底入れをした可能性が高いだろう。2022 年 3 月以来となる長期平均超えも目前に迫っている。国・地域別に確認すると、アジア・オセアニアの堅調さと、欧州圏の弱さの対比が目立つ。上述の通り、アジア・オセアニアをけん引したのは中国と言って差し支えない。ゼロコロナ政策解除以降、経済回復が思ったように進んでいないことは繰り返し本欄で述べてきたことではあるが、少なくとも景気拡大局面にあることは間違いないだろう。7 月末の党中央政治局会議では、内需拡大に注力するため、自動車や電子製品などの消費を促進し、旅行などのサービス消費も後押しする方針を示した。市場では、小出しな経済政策に留まっていると指摘されることも多いが、今後に関しては具体的にどのような景気刺激策が打たれるかに注目が集まるだろう。中国の景気回復が順調に進めば、2023 年初めに起きたことと同じように、欧州圏の景気減速もよりマイルドなものに留まる公算が大きいだろう。

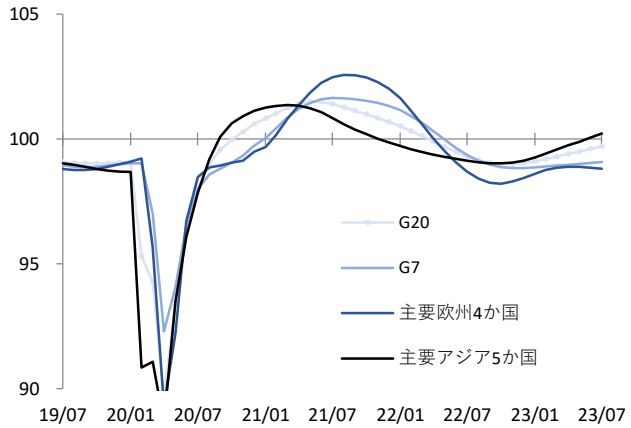
図表 1:OECD 景気先行指数の推移

OECD景気先行指数　　（長期平均=100）

	22年12月	23年01月	23年02月	23年03月	23年04月	23年05月	23年06月	23年07月	前月比（%）
G20	99.0	99.1	99.2	99.3	99.4	99.5	99.6	99.7	0.11
G7	98.8	98.9	98.9	98.9	99.0	99.0	99.0	99.1	0.05
主要欧州4か国	98.4	98.6	98.7	98.8	98.9	98.9	98.8	98.8	▲ 0.04
主要アジア5か国	99.1	99.3	99.4	99.6	99.7	99.9	100.1	100.2	0.16
米国	98.9	98.8	98.8	98.8	98.9	98.9	99.0	99.1	0.12
カナダ	97.8	97.7	97.6	97.5	97.4	97.4	97.4	97.4	▲ 0.00
ブラジル	99.6	99.4	99.3	99.4	99.5	99.6	99.8	99.9	0.16
メキシコ	100.0	100.2	100.4	100.5	100.5	100.5	100.6	100.7	0.10
ドイツ	99.0	99.2	99.4	99.5	99.5	99.5	99.4	99.3	▲ 0.13
フランス	98.8	98.7	98.6	98.5	98.5	98.4	98.3	98.2	▲ 0.09
イタリア	98.1	98.2	98.2	98.2	98.2	98.1	98.1	98.0	▲ 0.05
スペイン	98.6	98.8	99.0	99.1	99.3	99.4	99.4	99.5	0.08
英国	97.5	97.9	98.3	98.6	98.8	99.0	99.2	99.3	0.13
日本	100.0	100.0	100.0	100.1	100.1	100.1	100.2	100.2	0.01
オーストラリア	99.0	98.9	98.8	98.8	98.8	98.8	98.8	98.8	0.02
中国	98.9	99.2	99.5	99.8	100.0	100.3	100.5	100.8	0.25
韓国	98.7	98.6	98.5	98.6	98.7	98.8	99.0	99.1	0.16
インド	99.6	99.6	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.6	0.04
インドネシア	97.8	97.7	97.7	97.7	97.8	97.8	97.9	98.0	0.09
南アフリカ	100.6	100.5	100.3	100.1	99.9	99.7	99.5	99.4	▲ 0.16
トルコ	99.6	99.7	99.9	100.1	100.2	100.4	100.4	100.4	0.00

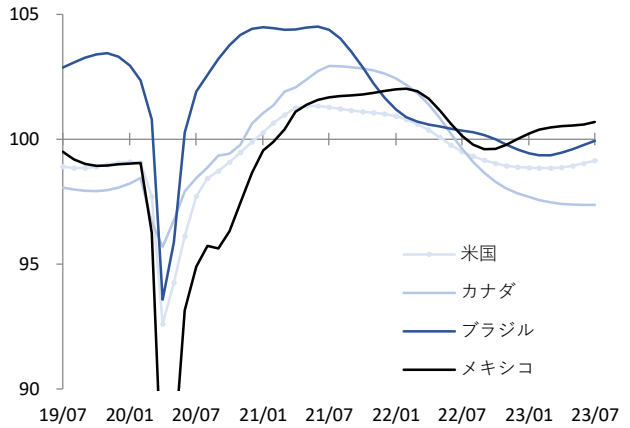
資料:OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行
※それぞれ四捨五入で記載している
※主要欧州 4 か国はフランス、ドイツ、イタリア、英国
※主要アジア 5 か国は中国、インド、インドネシア、日本、韓国

図表 2:G20、G7、主要欧州 4 か国、主要アジア 5 か国



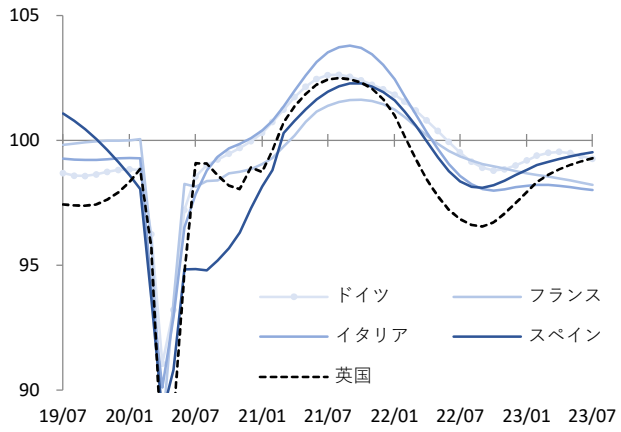
出所:OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行
※コロナ期の下限は意図的にカットしている。以下図も同様。

図表 3:アメリカ大陸



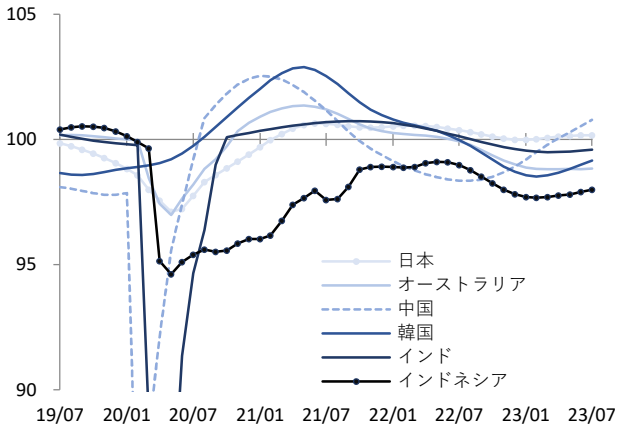
出所:OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4:欧州圏



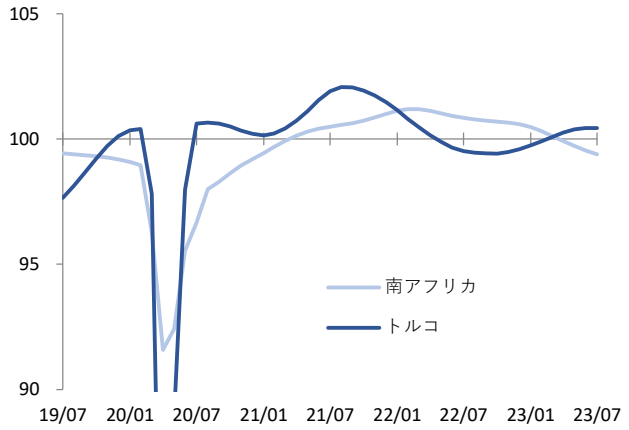
出所:OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5:アジア・オセアニア



出所:OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6:中東・アフリカ



出所:OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。